

七十八番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
阿弥陀如来		
寺号		
郷照寺 <small>ごうしょうじ</small>		
奉納者姓名		
せつ	みき シヤ 徳藏 坂井源八 青森市	
歩行時間	七十七番寄り 275 秒	
四国霊場	本尊	阿弥陀如来
	寺号	郷照寺
	山号	仏光山 <small>ぶつこうざん</small>
	所在地	香川県綾歌郡宇多津町 (讃岐の國)

七十九番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名

十一面観世音

寺号

金華山寺

奉納者姓名

一英

きみゑ

一馬

きよ

柿崎市太郎

油川町

歩行時間

七十八番寄り 240秒

四国霊場

本尊

十一面観世音菩薩

寺号

天皇寺(高照院)

山号

金華山

所在地

香川県坂出市(讃岐の國)

八十番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
千手観世音		
寺号		
國分寺 <small>こくぶんじ</small>		
奉納者姓名		
外崎勝太郎	青森市	
杉沼正三	小林きね	
小林吉郎	大里むめ	
歩行時間	七十九 番寄り 110 秒	
四国霊場	本尊	十一面千手観世音菩薩
	寺号	國分寺
	山号	白牛山 <small>はくぎゅうざん</small>
	所在地	香川県高松市 (讃岐の國)

八十一番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名

千手観世音

寺号

しろみねじ
白峰寺

奉納者姓名

敏

キク

マヨ

工藤平吉

油川町

歩行時間

八十番寄り 120秒

四国霊場

本尊

千手観世音菩薩

寺号

白峰寺

山号

りょうしょうざん
陵松山

所在地

香川県坂出市(讃岐の國)

八十二番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
千手観世音		
寺号		
根香寺		
奉納者姓名		
キヨ	宇一郎 工藤コヨ 油川町	
歩行時間	八十一番寄り 100秒	
四国霊場	本尊	千手観世音菩薩
	寺号	根香寺
	山号	青峰寺
	所在地	香川県高松市(讃岐の國)

八十三番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名

せい かん ぜ おん
聖観世音

寺号

いち みやじ
一ノ宮寺

奉納者姓名

油川町
為威徳院積了本菩提
俗名 又吉
施主
佐藤タミ
全 寶藏

歩行時間 八十二 番寄り 200 秒

四国霊場

本尊 聖観世音菩薩

寺号 一宮寺

山号 じんこうざん
神毫山

所在地 香川県高松市 (讃岐の國)

八十四番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
千手観世音		
寺号		
屋島寺 <small>やししまじ</small>		
奉納者姓名		
神たけ	青森市 今嘉之助 今とわ 糸沢兼治 小林千代吉	
歩行時間	八十三番寄り 120秒	
四国霊場	本尊	十一面千手観世音菩薩
	寺号	屋島寺
	山号	南面山 <small>なんめんざん</small>
	所在地	香川県高松市(讃岐の國)

八十五番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
正観世音		
寺号		
八栗寺 <small>やくりじ</small>		
奉納者姓名		
ソワ	留助 ソデ 扇野ソノ 為先祖代々菩提 青森市	
歩行時間	八十四番寄り 155秒	
四国霊場	本尊	聖観世音菩薩
	寺号	八栗寺
	山号	五剣山 <small>ごけんざん</small>
	所在地	香川県高松市(讃岐の國)

八十六番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
十一面観世音		
寺号		
志度寺		
奉納者姓名		
郷子	つる さき 義雄 青森市 浜田勇次郎	
歩行時間	八十五 番寄り 110 秒	
四国霊場	本尊	十一面観世音菩薩
	寺号	志度寺
	山号	補陀落山 <small>ふだらくざん</small>
	所在地	香川県さぬき市 (讃岐の國)

八十七番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名

正観世音

寺号

ながおじ
長尾寺

奉納者姓名

青森市

太田よ志

工藤きえ

日野さく

為正 譽浄業清居士
俗名 木村正治

木村むら

歩行時間

八十六番寄り 170秒

四国霊場

本尊

聖観世音菩薩

寺号

長尾寺

山号

補陀落山

所在地

香川県さぬき市（讃岐の國）

八十八番 石仏



青森四国八十八ヶ
霊場

本尊名		
薬師如来		
寺号		
おおくぼじ 大窪寺		
奉納者姓名		
青森市 甲谷貞吉	中沢村 坂本周太郎	
キサ イト 清		
歩行時間	八十七番寄り 120秒	
四国霊場	本尊	薬師如来
	寺号	大窪寺
	山号	医王山
	所在地	香川県さぬき市（讃岐の國）



八十八番札所 石塔

奉納者姓名

奉納
瀧澤初太郎
小山内 傳
昭和九年旧三月
二十一日建立



八十八番札所内 坐像石仏

本尊名

じょいりんかんのん
如意輪観音

奉納者姓名

新井田町中



八十八番札所内 立像石仏

本尊名

じゅういちめんかんのん
十一面観音

奉納者姓名

北親會一同



八十八番札所内 坐像石仏

本尊名

せいしほさつ
勢至菩薩

奉納者姓名

後潟村

金谷孫市

全 そよ

全 基一

全 さと



八十八番札所内 立像石仏

本尊名

ぎょらんかんのん
魚籃観音

奉納者姓名

窪田ツサ
全謙吉



八十八番札所内 立像石仏

本尊名

みずかけじぞう
水懸地藏

奉納者姓名

青森市浦町
竹内千代吉
全いそ



八十八番札所内 坐像石仏

本尊名

ふげんぼさつ
普賢菩薩

奉納者姓名

青森市

大森初五郎

全とせ

原別村

大森藤吉

全タカ



滝不動明王銅像





八十八番札所内 立銅像

しゅうぎょうだいしぞう
修業大師像

寄贈者姓名

願主 窪田萬吉

全ツサ 謙吉

全周治 マツ

全ノブ

昭和八年九月十日
京都

高橋才治郎謹製

開山について

弘法大師の事例の一つである四国八十八ヶ所は、遠隔の地であるため巡拝を達し得る信者は少なかった。それを遺憾とし青森市浦町竹内千代吉、同栄町和田興作、同新町八木留二の三氏が発起人となって青森大師講を設立して、油川山腹に青森四国八十八ヶ所霊場を建立することになった。

油川町の窪田萬吉氏は、京都(寺町仏光寺下る)の鋳物師高橋才治郎(鐘声堂主)に銅像の設計・施工を依頼して経費一千圓で建立寄贈した。

一百一体の仏像は、青森市浦町辻石工店で製作され、五所川原間自動車道が開通迄、窪田氏の地所に仮安置された。昭和8年8月24・5両日間は油川錦座に於いて映画会を開催、入場者には漏れなく御供物及び弘法大師御影を贈呈する。

昭和8年東奥日報紙面より



八十八番札所内
立像石仏

こやすだ いしぞう
子安大師像

建立者姓名

彫刻人 辻和一郎

開山 萩原信道

願主 壹千人代

昭和九年旧三月廿一日

石仏について

(単位:体)

本尊名	坐像	立像	涅槃像	仏体数
阿弥陀如来	7	3		10
虚空藏菩薩	2	1		3
地藏菩薩	3	2		5
釈迦如来	3	1	1	5
十一面觀世音	1	10		11
正觀世音		3		3
聖觀世音		1		1
千手觀世音	2	10		12
千手千眼觀世音		1		1
大通智勝佛	1			1
大日如来	5			5
波切不動明王		1		1
馬頭觀世音	1			1
毘沙門天王	1			1
不動明王	2	1		3
弥勒菩薩	1			1
文殊菩薩	1			1
藥師如来	20	3		23
計	50	37	1	88



《 秋季法会 》 紫燈護摩・火渡り



(信者火渡り)

調査ツアー参加者名簿

平成23年10月22日

氏名	町会名	所属等
木村 慎一 <small>キムラ シンイチ</small>	寺町	元気町あぶらかわ街づくり委員会 委員長
佐藤 剛 <small>サトウ タケオ</small>	新油町	油川コミュニティを考える会 監事
葛西 清悦 <small>カサイ セイエツ</small>	平和町	油川コミュニティを考える会 代表
中川 光平 <small>ナカガワ コウヘイ</small>	仲町	油川市民センター館長
窪田 真木子 <small>クボタ マキコ</small>	茶屋町	油川地域史研究会々計
對馬 ひろ <small>ツシマ</small>	新油町	油川地域史研究会々員
海老名 ひさ <small>エビナ</small>		サークル虹の会
佐々木 トシ <small>ササキ</small>		"
市川 チエ子 <small>イチカワ ユコ</small>		"
奥寺 繁 <small>オクデラ シゲ</small>	横町	油川コミュニティを考える会 会計
柿崎 正 <small>カキザキ タダシ</small>	館町	油川地区学校支援コ-ディネ-タ-
土屋 けい子 <small>ツチヤ</small>	羽白町会	
船橋 正明 <small>フナハシ マサアキ</small>		青森市市民協働推進課職員
澤田 朋紀 <small>サワダ トモノリ</small>		"
其田 秀昭 <small>ソノダ ヒデアキ</small>		"
楠 美太 助 <small>クスマ ダイスケ</small>		東青地域県民局 地域連携部地域支援室職員
計		16名

敬称略



(全員無事信道院に到着)



(雨中、調査ツアー敢行)



あとがき

この青森四国八十八ヶ所霊場巡り『報告書』は、油川コミュニティを考える会が地域の歴史文化の伝承活動の一環として平成二十三年十月に調査した内容を編集したものです。

油川コミュニティを考える会は、地域の良さを再確認して問題点を把握しながら、地域の皆さんの生活が**ますます豊かせる**町づくりを目指して平成二十二年十一月に発足しました。この活動は、青森市が推進する「まちづくり構想推進事業」として地域のごときは地域で考え、決め、実行できる仕組みづくりを進める調査研究対象地域として取り組んでいるものです。

青森四国八十八ヶ所霊場は、油川野木和公園西側山麓の信道院を起点として、鶴ヶ峰山中一円約8Kの山道沿いに、四国八十八ヶ所霊場の本尊を模した八十八体の石仏群があり、油川地域の人々の願いと力により、今なお信仰され続けています。

ところが、歴史の経過に伴い地元の人でも「八十八ヶ所があるのは知っているが、行ったことがない」とか、若い人たちのなかには全く知らないという人が増えているのが現状です。このような状況のもと、油川コミュニティを考える会が、昨年十月に調査探訪ツアーを企画し、霊場巡りのレポート確認も含め現状調査を実施、今年度その調査内容を資料として取りまとめることにしました。

本報告書は、青森四国八十八ヶ所霊場の一番から八十八番までの全ての石仏を写真に収め、石仏の台座に刻まれた番所、本尊名、寺号、奉納者についても全てを調査し収録しました。更には、信道院境内に安置されている六地藏と六菩薩についても同様に収録しています。そのほか、信道院住職様からは、保存されている資料をご提供頂き、開山の由来や当時の様子を取材した東奥日報社の新聞記事、今純三氏が描いた鳥瞰図なども収録したほか、各番所ごとに四国八十八ヶ所霊場との関連付けの説明も加えるなど、霊場巡りのガイドブックとしても利用できるよつに配慮しました。

また、本書は油川地域の歴史の一部として、後世に残していくため信道院、油川市民センター、市民センター図書室等に寄贈させて頂き、多くの皆様にご利用頂きたいと願っております。そして、この貴重な地域資産を正しく理解し、一人でも多くの皆さんがこの「青森四国八十八ヶ所霊場」を訪れますよつに祈念して、あとがきと致します。

最後に、この報告書を作成にあたっては、調査方法や資料の編集についてご指導頂いた元気町あぶらかわ街づ

くり委員会委員長の木村愼一氏、調査に快諾頂き貴重な資料提供も戴いた信道院の伊藤信教住職、調査探訪ツアー及び本書編集を担当した油川コミュニティを考える会メンバーの佐藤剛氏、そして調査探訪ツアーに参加いただきました皆さん、ご多忙の中本書の編集会議に出席戴いた油川コミュニティを考える会のメンバーの皆さんに、この場をお借りして心から感謝の意を表します。

平成二十四年九月

油川コミュニティを考える会

代表 葛西清悦

発行年月日

平成二十五年三月

発行編集

油川コミュニティを考える会

調査協力

元気町あぶらかわ街づくり委員会

宗教法人 修験道信道院